シラバス（地歴科）【ホームページ・ガイダンス用】

科目名	地理総合	学年	3	使用教材	教科書	高等学校新地理総合／新詳高等地図 最新版	帝国書院
		必履修の別（必・選必・コース選）	必		副教材	高等学校新地理総合ノート	帝国書院
学科	全学科	単位数	2				
系統科目	歴史総合（1年必・2単位）、世界史探究・日本史探究・地理探究（3年選必・4単位）、日本史発展・地理発展（3年選・2単位）						

【学習方法のポイント】

1 自然環境、資源・産業、都市・村落、生活文化等を通して現代世界の特色を探る。

2 現代の世界を地域（市町村規模、国家規模、州・大陸規模）を通して学ぶ。

3 現代世界の諸課題（国家間、日本の近隣諸国、環境・エネルギー問題、人口・食料問題、居住・都市問題、民族・領土問題）を理解する。

4 地理という学習（教科）が世界を捉えるうえで重要であることを理解するとともに、世界の諸問題に対して考え、自分の意見を述べる力を身につける。

5 地図を理解し、地理情報を有効に活用できる資質を養う。

【定期テスト範囲（目安）】※追加・変更することもある。

			教科書（単元）
学期	1学期	中間	第1部第1章1節地球上の位置と時差～2節2. 身のまわりの地図
		期末	第1部第1章2節3. 統計地図の種類と利用～第2部第1章1節6. 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活
	2学期	中間	第2部第1章2節1. 気温・降水と人々の生活～第2部1章3節　追求事例　宗教3
		期末	第2部1章4節1. 歴史的背景が人々の生活に与える影響～第2部第2章3節3. 地域で異なるエネルギー問題への取組
	3学期	学年末	第2部第2章4節1. 世界の人口～第3部第1章4節2. 気象災害への取組

【学習サポート】

○ 地理の授業は自分の視野を広げることを目的とし、様々な事柄に興味をもち、新聞やニュースなどに積極的に親しみましょう。

○ 授業は新地理総合ノートとプリントを併用して行います。各項目での考え方・仕組みをしっかり理解しましょう。

○ 地図帳で調べた個所をチェックする蛍光ペンはオレンジ色・ピンク色がおすすめです。併せて透明フィルムタイプの付箋紙も再確認しやすく便利です。

科目目標（資質・能力）	柱書	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
	知識及び技能	地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様及な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
	思考力，判断力，表現力等	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
	学びに向かう力，人間性等	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
観点別評価の表記について		学習改善(指導)に生かす評価(●)は毎時間行うものであり、ここでは表記しない(学習指導案には記載する) 評価に用いる(記録に残す)評価=○、そのうちペーパーテストで見取る評価=◎として記載する。

学期	月	大項目 編	中項目 章	単元名 節	FQ（単元を貫く問い）	小単元名と考査の位置づけ	MQ（本時の問い）	評価の観点 知	思	態	時数
1学期の評価						オリエンテーション					1
	4	地図でとらえる現代社会	地図と地理情報システム	地球上の位置と時差	地球の全体的な姿を把握するために必要な事は何か	1.地球上の位置と私たちの生活	なぜ世界各地に多様な生活があるか考えよう	◎			1
						2.時差と私たちの生活	時差が生じる仕組みを考えよう				
						1.地球儀と地図	多くの図法がある理由を考えよう	◎			1
						2.身の回りの地図	生活に地図が必要な理由を考えよう。	◎	○		1
						3.統計地図の種類と利用	地図と各統計を組み合わせる利点を考えよう	◎			1
						4.地理情報システム（GIS）の活用	GISの活用法を考えよう。		○		1
	5		結び付きを深める現代社会	現代世界の国家と領域	国家が存在する理由は何か	1.現代社会の国家	各国や日本の領域について調べよう	◎			1
						2.日本の位置や領土					
				クローバル化する世界	グローバル化が進展する理由を考えよう	1.国家間の結び付き	なぜ国家間が協力するか考えよう	◎			1
						2.貿易によって結び付く世界	物だけでなく人や情報も移動するのはなぜか	◎			1
						【1学期中間考査】		◎	◎		1
						3.さまざまな交通網の発達	大量の物や人が移動できる理由を考えよう	◎			1
						4.世界を結ぶ通信網の発達	情報化が進展し、人々の生活がどう変化したのか	◎			1
						5.観光のグローバル化	インバウンドが増加した理由を考えよう	◎			1

2学期の評価	6	国際理解と国際協力	生活文化の多様性と国際理解	生活文化の多様性	地形が人間社会に与える影響を考えよう	1.生活文化を考察する方法	多様な生活文化を調べる方法を考えよう		○	○	I
				世界の地形と人々の生活		1.大地形と人々の生活	地質構造が人間生活にどのような影響を与えているか	◎			I
						2.変動帯と人々の生活					
						3.安定地域と人々の生活	安定地域の地形は人間生活にどのような影響を与えているか	◎			I
						4.河川がつくる地形と人々の生活	河川が作る地形は人間生活にどようなな影響を与えているか	◎			I
						5.海岸の地形と人々の生活	海岸が作る地形は人間生活にどようなな影響を与えているか	◎			I
						6.氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活	氷河・乾燥・カルスト地形は人間生活にどようなな影響を与えているか	◎			I
						【1学期期末考査】		◎	◎		I
	7			世界の気候と人々の生活	気候が人間社会に与える影響を考えよう	1.気温・降水と人々の生活	気候が人間生活の関連性を考えよう	◎	○		I
						2.大気大循環と人々の生活	風が起こるメカニズムを考えよう				
						3.世界の植生と気候区分	気候と植生の関連性を考察しよう	◎			I
						4.熱帯の生活	熱帯気候と人間生活の関係を考えよう	◎			I
						5.乾燥帯の生活	乾燥気候と人間生活の関係を考えよう	◎			I
						6.温帯の生活	温帯気候と人間生活の関係を考えよう	◎			I
						7.亜寒帯・寒帯の生活	亜寒帯・寒帯気候と人間生活の関係を考えよう	◎			I
	9					追究事例 自然①乾燥した大陸と太平洋の島々での生活-オセアニア-	オセアニアの自然環境が産業へ与える影響を考察しよう	◎	○		I
						追究事例 自然②モンスーンの影を受ける地域での生活-東南アジア-	季節風が農業などの人間生活に与える影響を考察しよう	◎	○		I
				世界の言語・宗教と人々の生活	言語・宗教と人間活動の関係を考えよう	1.世界の言語と人々の生活文化	言語と国家、民族や文化の関係性について考えよう	◎			I
						2.世界の宗教と人々の生活文化	宗教と国家、民族や文化の関係性について考えよう	◎			I
						追究事例 宗教①イスラームと人々の生活の関わり-中央アジア・西アジア・北アフリカ-	イスラームの伝播や生活文化への影響を考察しよう	◎	○		I
						追究事例 宗教②ヒンドゥー教と人々の生活の関わり-インド-	インドの文化伝統や生活をヒンドゥー教に関連させて考えよう	◎	○		I
						【2学期中間考査】		◎	◎	◎	I
	10			歴史的背景と人々の生活	植民地の歴史と現在の問題点を考察し解決策を考えよう	1.歴史的背景が人々の生活に与える影響	植民地化や資本主義・社会主義が生活に与える影響を考えよう	◎			I
						追究事例 歴史①移民の歴史と人々の生活の関わり-ラテンアメリカ-	南米の植民地化と移民の社会への影響を考えよう	◎	○		I
						追究事例 歴史②植民地支配の歴史と人々の生活の関わり-サハラ以南アフリカ-	植民地支配の歴史が文化伝統や産業へ与えた影響を考えよう	◎	○		I
						追究事例 歴史③国家体制の変化と人々の生活の関わり-ロシア-	社会主義から資本主義への変化が人間生活に与えた影響を考えよう	◎	○		I
	11			世界の産業と人々の生活	産業が発展する長所と短所を考察しよう	1.人々の生活を支える農業の発展	自然環境と農業の関係性を考察しよう	◎			I
						2.人々の生活を支える工業の発展	各種工業の発展と人間生活の関係性を考察しよう	◎			I
						3.グローバル化する現代の産業と人々の生活	多国籍企業とグローバル化の関係を考察しよう	◎			I
						追究事例 産業①産業力が世界の生活文化に与える影響-アメリカ合衆国-	各産業で世界をリードしている米国の仕組みを考えよう	◎	○		I
						追究事例 産業②経済成長による人々の生活の変化-東アジア-	東アジアの経済成長とその要因について考察しよう	◎	○		I
						追究事例 産業③地域統合が人々の生活や産業に与える影響-ヨーロッパ-	地域統合する理由とその影響を考えよう	◎	○		I
			地球的課題と国際協力	複雑に絡み合う地球的課題	地球的課題を減少させる対策を考えよう	1.相互に関連する地球的課題とその解決に向けて	地球的課題の種類や解決策を考えよう		○	○	I
				地球環境問題		1.多様な地球環境問題	人間の経済活動が環境にどのような影響を与えているか考えよう	◎			I
						2.熱帯林の破壊への対策	南米や東南アジアの農業を軸に熱帯林減少の理由と対策を考えよう	◎			I
						3.地球温暖化への対策	化石燃料と温暖化の関係と対策を考えよう	◎			I
				資源・エネルギー問題	資源の不足や大量消費で起こる問題を考えよう	1.世界のエネルギー・鉱産資源	資源の大量使用による課題とその解決策を考えよう	◎			I
						2.エネルギー利用の現状と課題	資源の偏在と貿易の問題点と対策を考えよう	◎	○		I
						3.地域で異なるエネルギー問題への取り組み	化石燃料以外のエネルギー資源の利用法を考えよう	◎			I
						【2学期期末考査】		◎	◎	◎	I
3学期の評価	12			人口問題	人口問題とその原因は何か	1.世界の人口	人口が増加、減少する理由とはなにか	◎			I
						2.発展途上国と先進国の人口問題	経済発展と人口問題の関係性を考察しよう	◎			I
						3.地域で異なる人口問題への取り組み	発展途上国と先進国の人口問題対策の違いとはなにか	◎			I
				食糧問題	食料需給の格差が生じる理由は何か	1.飢餓と飽食	食料問題が発生する原因と解決策を考えよう	◎	○		I
						2.地域で異なる食料問題への取り組み					
				都市・居住問題	都市人口集中の要因と都市問題の対策は何か	1.世界の都市の発達	都市が形成された要因について考察しよう	◎			I
						2.発展途上国と先進国の都市・住居問題	各国の都市問題の違いと原因を考えよう	◎			I
						3.地域で異なる都市・住居問題への取り組み	発展途上国と先進国の都市問題対策の違いとは何か	◎			I
	1	持続可能な地域づくりと私たち	自然環境と防災	日本の自然環境	日本の地理的特徴と自然災害への対策を考えよう	1.日本の地形	日本の地形や位置と気候の関係性を考えよう	◎	○		I
						2.日本の気候					
	2			地震・津波と防災		1.地震・津波による災害	地震・津波が発生する原因は何か	◎			I
						2.地震・津波の被災地の取り組み	地震・津波の対策に必要なことは何か	◎			I
				火山災害と防災		1.火山の恵みと災害	火山の人間生活への影響は何か	◎			I
						2.火山と共生する地域の取り組み	火山の対策に必要なことは何か	◎			I
				気象災害と防災		1.さまざまな気象災害	地域によって多様な気候災害が発生する理由を考えよう	◎			I
						2.気象災害への取り組み	多様な気象災害への対応策を考えよう	◎			I
						【学年末考査】		◎	◎	◎	I
				自然災害への備え		1.減殺の取り組み	沖縄での減殺対策を考えよう	◎			I
						2.被災地への支援	自分ができる自助・共助を考えよう	◎			I
	3		生活圏の調査と地域の展望	生活圏の調査と地域の展望	地域調査に必要な方法は何か	1.地理的な課題と地域調査	地域の課題を解決するために必要な情報は何か		○	○	I
						2.現地調査の準備					
						3.現地調査の実施	現地調査の効率的方法と視覚的に理解しやすい資料は何か		○	○	I
						4.調査の分析と発表					